

2023年度 各種奨学生の募集について

下記奨学団体が奨学金の募集を行っています。申請希望者は学生支援課奨学金担当(朝倉)、学生課学生支援係(岡豊)又は物部総務課学務室(物部)まで問い合わせてください。

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 一般財団法人全国大学生協連奨学財団 (大学生協学業継続奨学金) https://www.univcoop.or.jp/syogakuzaidan/index.html</p>	<p>以下のすべてに該当し、扶養者が死亡したため、学業継続が経済的に著しく困難な方が対象 (1)全国大学生協連に加入する会員生協のある大学の学部生、院生※留学生は大学生協組合員に限る (2)扶養者死亡後原則として1年以内の応募であること * 扶養者死亡時点で学籍がない場合は、応募できないものとする * 応募資格等の詳細については、左記のHPで確認すること</p>
<p>公益財団法人 交通遺児育英会 (大学・大学院奨学生) https://www.kotsuiji.com</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・申込時25歳までの学生 ・保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含む * 応募書類・応募方法等については本法人HPより確認すること
<p>返還の必要なし 公益財団法人 似鳥国際奨学財団 (2023年度上期奨学生) https://www.nitori-shougakuzaidan.com/</p>	<p>次のすべての項目に該当する者(全ての資格は、2023年4月1日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国籍を有する者(外国籍を有し在留資格が、「永住者」または「定住者」の人も応募可能) ・【学部生】1～4年(医学部医学科の学生は1～6年)に正規生として在籍予定の者(1～4年は23歳以下、5～6年は25歳以下の者) ・【大学院生】25歳以下で、修士課程の1～2年に正規生として在籍予定の者 ・その他 * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること
<p>返還の必要なし 公益財団法人 蔵人記念財団 https://www.kurodo-foundation.or.jp/</p>	<p>次のすべての項目に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募時点において、日本国籍を有している者 ・現大学1年生(給付は大学2年次より行います) ・経済的にめぐまれず、修学が困難な者(世帯年収が、目安として400万円以下(税込み)であること) ・親権者(又は未成年後見人)等による保証人の同意を得ている者 ・本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者又はその構成員ではない者 ・日本国内にある大学で、農学部、畜産学部、水産学部及びそれらに準ずる学部・学科(獣医学は除く)に在籍している者 * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること * 応募書類の推薦書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、署名・捺印をもらってください。(大学の公印は省略します。大学名は奨学金窓口でゴム印を押しますので、募集期限に間に合うように推薦書を持参してください。)
<p>返還の必要なし G-7奨学財団 https://g-7foundation.or.jp</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学又は大学院に在籍し、学業優秀、品行方正で、学修意欲があり心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者であって、学資の援助をすることが必要であると認められる者 ・日本国籍を有している者 ・他の奨学金制度との併用・併願は可能(ただし、支給額を調整することがあります。) ・学力基準:学部生新2年生以上は、原則として、GPAが3.1以上の者 その他 * 応募資格、提出書類等の詳細、申請書類は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること * 成績証明書はGPAが記載されたものを提出してください(2022年度全ての成績が記載されたもの)。 大学院生については、財団の評価基準(4段階評価)を使って、各自GPAを算出してください。 * 応募書類の推薦書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、署名・捺印をもらってください。
<p>返還の必要なし 高知ロータリークラブ (ロータリー学業支援奨学資金) (問合せ先:088-824-8660)</p>	<p>次のすべての要件を満たす者(2023年度大学進学者対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市に居住し公立高等学校を令和5年3月末に卒業する者、または高知市以外の市町村に居住し高知市近隣の公立高等学校を令和5年3月末に卒業する者 ・学業、人物ともに優れ、学習意欲が旺盛で、かつ、経済的援助を必要とする者 ・高知大学に現役で合格した者 ・年4回(6月・10月・12月・2月)の夜間例会に3回程度参加できる者(無料) * 他の奨学金との併用が可能
<p>返還の必要なし 株式会社リバネス (リバネス奨学金) https://univ.lne.st/scholarship</p>	<p>次の応募資格を満たしている者について応募可能とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「科学技術の発展と地球貢献を実現する」に資する社会実験的な活動を構想し、実現していく強い意思を持っている大学生・大学院生。 ・自身の事業・プロジェクトに徹底的に時間を投資する意思がある。 ・仲間やメンターと切磋琢磨しながら学び、成長する意思がある。 * 選考にあたって、2023年1月22日(日)の講演会参加は原則必須となります。 * 2023年4月以降の「アクセラレーション期間」に1月で開催される「ゼミ」は、ご自身の予定を調整して全回参加できることが参加条件となります。 * 詳しい応募要項、エントリーフォーム等は左記HPで確認すること。

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p>高知市教育委員会 (高知市大学等奨学資金奨学生) (問合せ先:088-823-9468)</p>	<p>次の①、②の両方と③～⑤のいずれかに該当する方 ①書類提出期限までに、高知市に本人または保護者が1年以上居住している方 ②修学が経済的に困難な方(生計を同じくする世帯全員の所得により判定します。) ③令和5年4月以降、大学に入学される方で、高校などを卒業(または高等学校卒業認定試験合格)後2年以内の方 ④大学(大学院を含む)に1年以上在学している方 ⑤大学等を令和5年3月末に卒業された方 * 他の奨学金制度との併用が可能</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 土科学センター財団 http://geo-kagaku.or.jp/projects/</p>	<p>以下の要件を満たす者 ・就業経験のない者(アルバイト除く) ・土に関する分野の実業、実務又は学術研究に将来従事しようとする者 例えば、大学・大学院の工学系、理学系、農学系、社会学系、人文学系等の学部・研究科において、地盤、地質、土壌、地球環境、自然災害、防災・減災、窯業、土中生物を学ぶものがこれに当たると考えられます。 ・人物、学業、健康ともに優れている者 ・経済的な理由で就学が困難な者 家計支持者(父母、父母がいない場合は代わって家計を支えている人)の収入が年収税込合計800万円以下とします。(退職金等、臨時的な収入は含めません。) * 募集要領、提出書類等は左記のHPで確認、ダウンロードすること * 提出書類の推薦書は、学生からアドバイザー教員(指導教員)にお願いし、署名・捺印をもらってください。(推薦所見欄と推薦書下部の住所、大学名、氏名欄について、すべてアドバイザー教員名(指導教員名)で署名、捺印をもらってください。)</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 キーエンス財団(新1年生のみ) www.keyence-foundation.or.jp</p>	<p>以下のいずれの項目にも該当する者 ・2023年4月に日本の大学に入学する者(4年制の学部・学科生に限る。ただし留学生を除く。) ・2023年4月1日現在、20歳以下である者 ・経済的な支援を必要とする者 ※日本学生支援機構を含む他の奨学金との併用について ・貸与型奨学金:併用可 ・給付型奨学金:併用不可(ただし海外留学支援の奨学金は併用可) ・国の修学支援制度による授業料等減免:併用可 ・大学独自の制度のうち現金が給付されるのではなく、大学に納付する授業料が実際に減額または免除される制度:併用可 ※詳細は左記HPから「応募の手引き」を参照してください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 キーエンス財団 (がんばれ!日本の大学生) www.keyence-foundation.or.jp</p>	<p>以下の項目すべてに該当する者 ・日本の大学に在籍する大学生(2023年度の新1年生を除く)である者(4年制の学部・学科生に限る。ただし留学生を除く。) ・2023年4月1日現在、23歳以下である者 ・最短修業年限にて卒業の見込みがある者 ・昨年までの「がんばれ!日本の大学生」応援給付金を受給していない者 ・当財団の奨学生ではない者 ・勉学に励み、目標をもって頑張っている大学生 ※他の奨学金等との併用についての制限はありません。 ※詳しくは左記HPより、「募集要項」を参照してください。</p>
<p>返還の必要なし G-7奨学財団(新1年生のみ) https://g-7foundation.or.jp</p>	<p>・大学又は大学院に在籍し、学業優秀、品行方正で、学修意欲があり心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者であって、学資の援助をすることが必要であると認められる者 ・日本国籍を有している者 ・他の奨学金制度との併用・併願は可能(ただし、支給額を調整することがあります。) ・学力基準:学部生新1年生以上は、高校3年間評定値が4.0以上の者 その他 * 応募資格、提出書類等の詳細、申請書類は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること * 高校の成績証明書を提出してください。 * 応募書類の推薦書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、署名・捺印をもらってください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 日本通運育英会 http://www.nittsu-ikueikai.or.jp/</p>	<p>下記の①～④のすべてに該当する者 ①交通事故により保護者等を失うか、又は保護者等が重度の心身障害を負った方。あるいは、学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方。 ②2023年4月現在、21歳以下である方。 ③経済的に就学が困難であると認められる方。 ④学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方。 * 応募資格、提出書類等の詳細、申請書類は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること</p>

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p style="text-align: center;">返還の必要なし 公益財団法人 T.O環境財団 https://to-zaidan.org/</p>	<p>次の各号のすべてに該当する者。 (1)2023年4月1日時点で、学部の3年生又は4年生の者 (2)地球環境保全、廃棄物リサイクル等に関連する教育課程を選択している学生であること (3)学業が優れ、品行が正しく、かつ、健康である者 (4)日本国籍を有している者 (5)親権者(または未成年後見人等)の同意を得ている者 (6)本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員ではないこと * 他の奨学金や授業料免除、各種経済支援制度の併願、併給に関する制限はありません * 採用された奨学生は、半年毎に年2回、生活状況報告書(財団所定のもの)を財団に提出する必要があります * 応募資格、提出書類等の詳細、申請書類は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること</p>
<p style="text-align: center;">返還の必要なし 公益財団法人 吉田育英会 http://www.yzf.or.jp</p>	<p>(マスター21)次に掲げる要件をすべて満たす者 ・日本国籍を有する者 ・2023年4月1日現在において、27歳未満である者 ・2023年4月1日現在において、4年次に在学中の者 ・2023年秋季または2024年春季に日本の大学院修士課程、または一貫制博士課程に入学を希望する者 ・進学先大学院において自然科学系分野を専攻する者 ・他奨学金との併給制限あり * 応募資格、提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること * 応募者が複数いる場合は学内選考があります。(推薦できる人数は1名です。) * 選考になる場合、財団が求める書類以外に提出書類が必要になる場合があります。(所得課税証明書と令和4年分の源泉徴収票または確定申告書の第一表及び第二表等)</p>
<p style="text-align: center;">返還の必要なし 公益財団法人 吉田育英会 http://www.yzf.or.jp</p>	<p>(ドクター21)次に掲げる要件をすべて満たす者 ・日本国籍を有する者 ・2023年4月1日現在において、30歳未満である者 ・2023年4月1日現在において、大学院修士課程の2年次に在学中の者 ・2023年秋季または2024年春季に日本の大学院博士後期課程に入学を希望する者、または一貫制博士課程の3年次に進学もしくは編入学を希望する者 ・進学先大学院において自然科学系分野を専攻する者 ・他奨学金との併給制限あり * 応募資格、提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること。</p>
<p style="text-align: center;">返還の必要なし 公益信託 池田育英会トラスト (受託者 株式会社 伊予銀行) https://www.iyobank.co.jp/</p>	<p>次の要件を満たす者 ・愛媛県内の高等学校を卒業した者、または保護者が愛媛県内に居住している者 ・学部2年生(新入生は対象外)～大学院生 ・学業・人物ともに優秀で、経済的支援の必要な方 * 他の奨学金と併せて給付を受けることができる * 奨学生に採用された方は年度終了後、報告書の提出が必要 * 募集要領、提出書類等は左記のHPで確認、ダウンロードすること</p>
<p style="text-align: center;">住友大阪セメント奨学金 https://www.soc.co.jp/saiyou/</p>	<p>募集対象 ・2023年4月1日に大学院博士課程3年生、大学院修士課程2年生、大学学部4年生に進級予定の者 ・2024年3月31日卒業・修了予定の学生で、就職を考えている者 ・機械、電気・電子、化学工学、土木・建築・環境、資源・地質、物理のいずれかを専攻している者 貸与金額:月額10万(上限) 貸与期間:採用決定時より、正規の修学残存期間 返済:返済金額は貸与総額とし、無利息。返済期間は、貸与期間の終了の翌月から貸与期間の2倍までとし、返済方法は半年賦または年賦。 返還免除:住友大阪セメント(株)に入社し、勤続満5年を経過したとき 応募方法:各キャンパスの奨学金窓口へ連絡し、応募したい旨を伝え、募集要項、推薦書のフォーマットをもらってください。その後、各自が採用HP(2024新卒採用)より、エントリー。会社から願書のフォーマットが送付されます。提出書類を揃えた上で、各自で郵送してください。 ※詳しい情報は、募集要項に記載されていますので、エントリー前に必ず奨学金窓口へご連絡してください。</p>
<p style="text-align: center;">返還の必要なし 公益財団法人ナガワひまわり財団 (公益財団法人ナガワひまわり財団奨学生) http://www.nagawa-himawari.or.jp</p>	<p>・出願時に日本国籍を有し、学部生(2～4年)・大学院修士課程に在学する者 ・出願する年度の4月現在、学部生(2～4年)・大学院修士課程に在学する者 ・2023年4月1日時点で、原則として学部生は満23歳以下、大学院生は満25歳以下であること ・在学する学校長、学長、研究科・専攻長、指導教官等の推薦する者 ・学費の支弁が困難と認められる者 ・心身ともに優れている者 ・成績要件及び収入要件は以下の通りとする (1)成績要件 原則、前年度までの成績(GPA)が3.00以上の者 ※大学院1年生は学部(1年～4年)、大学院2年生は学部(1年～4年)及び修士1年の累計GPAで算出する (2)収入要件 給与収入世帯の場合、世帯合計収入800万円未満、給与収入以外の世帯の場合は、自営業などその他所得が400万円未満 ※収入の種類、金額、世帯構成、通学形態、家庭事情などは考慮する * 大学に推薦書の様式を用意していますので、申請を希望する方は申請期限に間に合うように各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせください。 * 募集要項を参照し、財団の算出方法にて、累積GPAを各自で計算し、各奨学金担当者に伝えてください。 * 応募資格、提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること。</p>

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 公益財団法人 戸部真紀財団 https://tobe-maki.or.jp/scholarship/</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本の大学及び大学院で修学している者 学部学生(3年生以上)、修士課程、博士課程の者※専門職学位課程は対象外です 年齢が2023年4月1日時点で30才以下であること 化学、食品科学、芸術学、デザイン学、体育学、スポーツ科学、経営学の分野で修学している者 向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者 学資の支弁が困難と認められる者 奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 <p>* 申請希望者は、財団HPで「奨学金申請」ボタンより、氏名、所属、メールアドレス、住所、電話番号等を登録してください。登録後、財団より、申請希望者のメールアドレス宛に、願書及び推薦状のダウンロード先アドレスが連絡されますので、当該ページよりダウンロードしてください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 岡本教育財団 (岡本育英奨学金) https://www.okamotofoundation.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)日本国籍を有すること (2)経済系学部 に在籍する学部3年生であること (3)令和5年4月1日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること <p>* 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること * 提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること</p>
<p>石川県教育委員会 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syomu/kuei/taiyu_kyufu.html</p>	<p>次のすべての要件を満たす者</p> <ul style="list-style-type: none"> 学部生である者(大学院生を除く) 保護者が石川県内に現に引き続き3年以上居住していること 勉学意欲があり、かつ学資の支弁が困難な者であること 日本学生支援機構奨学金の貸与を受けていない者 <p>* 家計急変により奨学金希望する者を対象にした緊急採用制度もあります(申請随時) * 応募資格、提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること。 * 応募書類の推薦書調書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、推薦所見、署名をもらってください。 * GPAが記載された成績証明書を提出してください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 いであ環境・文化財団 https://ieaf.or.jp</p>	<p>以下の項目を全て満たしていること(留学生も対象)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①令和5年4月1日現在、学部2年生以上の者(大学院博士課程までを含む)で、大学の正規課程において、将来、環境保全の分野で社会貢献を目指すための科目を履修していること、又は芸術分野における作品の創作活動を行っていること ②所属大学からの推薦を受けることができること ③別途定める学力基準を満たしていること ④過去において、本財団の奨学金制度による奨学金を受給していないこと <p>* 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること * 応募者多数の場合は学内選考があります(1人の推薦者(アドバイザー教員等)が推薦できる応募者は1名、各学部、各専攻からの応募者の上限は3名) * 選考になる場合、財団が求める書類以外に提出書類が必要になりますので、所得課税証明書と令和4年分の源泉徴収票または確定申告書の第一表及び第二表等を提出してください。</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人 KAWAJIRI FOUNDATION (川尻育英奨学金) https://www.kawajiri-foundation.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の経済系学部 に在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること <p>* 経済学部、経営学部、商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>一般財団法人 トヨタ女性技術者育成基金 http://www.toyota-rikejosei.or.jp</p>	<p>次のすべての要件を満たす者</p> <ul style="list-style-type: none"> 2023年4月時点で学部の1年生、3年生、大学院の1年生の女性 学業成績優秀で、当基金の主旨に賛同し、将来製造業者でものづくりに関わる女性エンジニアとして、活躍していく意欲、熱意のある者 理工学系を専攻する者 日本国籍を有し、日本に居住している者
<p>返還の必要なし 一般財団法人 オークネット財団 (令和5年度オークネット奨学金[給付型]) https://aucnet-foundation.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)日本国籍を有すること (2)経済系学部 に在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること <p>* 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人 神保教育文化財団 (神保育英奨学金) https://jin-edu.or.jp/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の情報工学科 に在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること <p>* 情報システム工学科、情報通信工学科、電気電子情報工学科、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>

団体 (奨学金名等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 公益財団法人 関通物流技術振興財団 (関通奨学金) http://kantsu-zaidan.or.jp/</p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)理工系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績及び家計状況に関して、応募の目安が示されていますので左記の財団HPから確認をしてください</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団 https://www.nakatani-foundation.jp</p>	<p>・医工計測技術および関連分野において博士号の取得を目指す、日本の大学院(博士前期・後期課程、一貫制博士課程)に入学を予定している、または在籍中の日本国籍または日本の永住権を有する者 ※入学予定者は2023年秋、2024年春に大学院入学予定の者。学部生も予約応募できません ※本奨学金の給付対象期間が1年未満の方は応募できません ※民間の奨学金との併給はできません * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 木原財団 (木原育英奨学金) https://kihara-foundation.org/</p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の理工系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人 LPC Foundation (LPC奨学金) https://lpc-foundation.org/</p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の経済系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 経済学部、経営学部、商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 杉山育英奨学金 https://www.sugiyama-zaidan.org/</p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の経済系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 経済学部、経営学部、商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 一般社団法人 唐神基金</p>	<p>次のすべての要件を満たす者 ・2023年4月時点で、学部生(1年～4年)の者(「留年」、「修士」「博士」は応募対象外) ・学業、人物共に優秀かつ心身共に健康である者 ・2022年の同一生計の世帯総年収が600万円以下である者 ・観光業、若しくは旅館・ホテル宿泊業に興味があり、自分なりの提案を持っている者 * 専攻不問 * 他の財団からの奨学金受給者も応募可能 * 日本在住の海外留学生も応募可能(但し、留学生の方は国際教育支援室に申請をしてください。) * 過去に応募した方も再応募可能 * 募集要項は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせください * 応募書類の学校推薦状は、学生からアドバイザー教員にお願いしてもらってください(日付や大学名、役職・氏名・印鑑等すべて完成した状態で各奨学金窓口へ提出をお願いします)。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 バロック村井博之財団 https://baroque-murai.or.jp/scholar/</p>	<p>・日本国内に居住する者で、日本国内の大学に在籍する日本人学生及び外国人留学生(大学院生は対象外) ・他の給付型奨学金を受給していない学部生 ・本財団が企画する行事(贈呈式等)への参加に協力できる者 * 留学生の方は国際教育支援室にお問い合わせください * 世帯所得は書類選考の判定に使用しますが、世帯所得による応募制限はありません * 推薦書は、アドバイザー教員に依頼し、特記事項についても記載してもらってください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 似鳥国際奨学財団 (2023年度下期奨学生) https://www.nitori-shougakuzaidan.com/</p>	<p>次のすべての項目に該当する者(全ての資格は、2023年10月1日時点) ・日本国籍を有する者(外国籍を有し在留資格が、「永住者」または「定住者」の人も応募可能) ・【学部生】1～4年(医学部医学科の学生は1～6年)に正規生として在籍予定の者(1～4年は23歳以下、5～6年は25歳以下の者) ・【大学院生】25歳以下で、修士課程の1～2年に正規生として在籍予定の者 ・その他 * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 在日本朝鮮人教育会 (朝鮮人奨学生) http://kyoikukai.net/syogakukin.html</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・30歳未満の在日朝鮮人学部学生(国籍不問) ・本教育会の<奨学制度の目的>に賛同し、指定行事に積極的に参加する意思のある者※左記の奨学金HPを参照 ・成績が優良で、かつ学費の支弁が困難の者 ・本国からの留学生を除く ・大学院生の募集は行わない ・日本学生支援機構を除く他の給付制の奨学金との併給不可。但し応募は可能 ・提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること
<p>一般財団法人 あしなが育英会 (大学・大学院奨学生) http://www.ashinaga.org</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が病気や災害(道路上の交通事故を除く)、自死などで死亡、または保護者が1級から5級の障がい認定を受けており、経済的な援助を必要としている家庭の子ども。※1998年4月2日以降に生まれた方が対象 ・奨学生に採用された方は、毎年度末に学業成績表・生活状況報告書の提出すること及び毎年春と秋に行われる「あしなが学生募金」への参加が必要です。 ・応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること
<p>返還の必要なし 川村育英会奨学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学部2年次、又は大学院修士課程1年次に在学し、以下の項目すべてに該当する者 ・化学、応用化学、化学工学などの化学系、および、機械、電気電子工学系を専攻 ・父母及び生計を一にする家族の年間収入が500万円以下(祖父母の年金収入は除く) ・成績証明書記載の学業成績に占める、80点以上の成績評価の割合が50%以上 ・奨学生に採用された者は「奨学生授与式、奨学生交流会及び講演会」に出席が必要 ・応募者多数の場合は学内選考があります(学部1名、大学院生1名) ・選考になる場合、財団が求める書類以外に提出書類が必要になる場合があります。(令和4年分の源泉徴収票または確定申告書の第一表及び第二表等) ・申請書類は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口に来てください ・成績証明書はGPAが記載されたものを提出してください。
<p>公益財団法人 交通遺児育英会 (大学・大学院奨学生) https://www.kotsuiji.com</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・申込時25歳までの学生 ・保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含む ・応募書類・応募方法等については本法人HPより確認すること
<p>返還の必要なし 公益財団法人原・フルタイムシステム科学技術振興財団 (原・フルタイムシステム育英奨学金) https://hara-kagaku.org/</p>	<p>以下の(1)～(6)のすべてに該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学・大学院の工学系学部又は工学系研究科に学ぶ者であること (3)新たに学部3年生又は修士1年生又は博士1年生となる者であること (4)募集年度4月1日時点で年齢30才以下であること (5)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (6)就学状況及び生活状況について適時報告できること <p>・応募書類・応募方法等については本法人HPより確認すること</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人 山村章奨学財団 (山村章育英奨学金) http://yamamura-scholarship.org/</p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の工学系学部に在籍する学部3年生であること (3)募集年度4月1日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること <p>・工学部及びこれに類するもの</p> <p>・学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 広智奨学会 https://kochishogaku.net</p>	<p>以下の(1)～(3)のすべてに該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)日本国内の大学の理工系(文部科学省の学科系統分類表に定める大分類が、理学、工学に限る。)学部在籍する大学2年生～4年生であること。 ※文部科学省の学科系統分類表 https://www.mext.go.jp/content/20200330-mxt_chousa01-001412325_4.pdf (2)日本国籍を有すること。 (3)学業・人物ともに優秀であり、健康であること。 <p>・募集要項、申請書類等は、左記のHPで確認、ダウンロードすること</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人 徳島アグリクリエイティブ (一般財団法人 徳島アグリクリエイティブ育英会) https://agri-tokushima.com</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年3月以降卒業予定の学部生・院生で、将来徳島県で農林水産業や高等学校農業科、林業科、水産科の教員、又は農林水産業振興に役立つ仕事をしたいと考えている人。 ・学生生活状況の報告義務を果たせる人 ・家計の基準あり ・応募書類、応募方法等については当育英会のHPより確認すること ・(5月に2023年度分を掲載予定。それまでは、2022年度の願書を使用してください。) ・事業の目的を達成せられない場合は、返還を要することがあります(詳細は当育英会のHPにて確認すること)

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p>公益財団法人 宮崎県奨学会 返還免除型、貸与型 (宮崎県奨学会奨学生)</p>	<p>次のいずれの条件をも満たす者 ①宮崎県に本籍を有する者、又は本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している者 ②令和5年4月に大学に入学した者 * 免除型奨学金以外の貸与については、在学生の応募も受け付けるが、財団に個別に問い合わせが必要 * 日本学生支援機構・宮崎県育英資金等他の奨学金との併願はできません。ただし、給付型の奨学金との併用は可能 * 申請様式は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせください * 推薦書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、所見をもらってください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 地域育成財団 https://chiiki-ikusei.com/</p>	<p>日本国内に居住する者で、大学又は大学院の地域創生に関連のある学部・学科に在籍し、地域創生に関わる学問を学ぶ学生または地域創生に興味・関心のある学生で、次の各号のすべてに該当する者 ①日本で学ぶ日本人学生及び外国人留学生で、応募時点で満25歳以下の者 ②経済的に恵まれず、修学が困難な者 ③親権者(または未成年後見人等)の同意を得ている者又は親権者に準ずる推薦人の推薦を受けている者 ④本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員でないこと * 申請方法等は左記の奨学金HPで確認すること * 応募フォームより申込を行うこと</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 日本国際教育支援協会 (2023年度JEES日本語教育普及奨学金) http://www.jees.or.jp/foundation/jitct-scholarship.htm</p>	<p>次の各号のすべてに該当する者。 (1) 令和5年10月に、正規生として日本の大学(大学院及び短期大学を含む。以下「大学」という。)に在籍し、日本語指導者を目指す者。また、私費外国人留学生の場合、在留資格は「留学」であること。 (2) 本協会が令和4年度に実施した日本語教育能力検定試験に合格した者。 (3) 採用された場合の受給期間が令和5年10月から6か月ある者。 (4) 本奨学金の受給期間中、他から受ける給付奨学金の受給額合計が年額300,000円以下である者。ただし、貸与型奨学金、学費免除及び国の高等教育修学新制度は除く。 (5) 令和5年10月に在籍大学の長の推薦を受けることのできる者。 * 協会が求める書類については、協会指定の形式データで各奨学金窓口まで持参をしてください。 * 応募者多数になる場合は、選考があるため、協会が求める書類以外に、大学が指示する書類を提出してもらう必要があります。たとえば、GPAが表示された成績証明書、生計維持者の最新の収入に関する証明書等。私費留学生については、親からの仕送りと自身のアルバイト状況がわかるもの等。(推薦人数は、2名までです。) * なお、申請希望者は、2023.5.24(水)までに、各窓口に出申し、大学が指示する書類を聞くようにしてください。 * 応募資格、提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること。</p>
<p>返還の必要なし 港区教育委員会事務局教育推進部 (港区給付奨学金) https://www.city.minato.tokyo.jp/kyouikushomu/04kyuuhusyougakukinzaigaku.html</p>	<p>次のすべての項目に該当する者 ・奨学金を受けようとする者の生計を維持する者が、給付の日の6月前から引き続き区内に住所を有していること。 ・経済的理由により修学が困難であること。 ・大学等に在学する学生等であること。 ・学校長の推薦があること。 ・学業成績が特に優れていること。 * 応募資格、学業成績等に係る基準、収入基準、資産基準等の詳細は左記の奨学金HPの「募集案内」で確認すること * 推薦調書下欄(日付、学校名、学長名以外)はアドバイザー教員に記入してもらい、提出書類一式を揃えて、大学締切日までに各キャンパスの奨学金窓口へ提出してください。</p>
<p>公益財団法人 安田奨学財団 (日本人学生一般枠)</p>	<p>次のすべてに該当する者 ・大学2年に在籍する人 ・日本国籍を有する人、又は外国籍であって、次の①～③のいずれかに該当する人 ①法定特別永住者 ②在留資格が「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」である人 ③在留資格が「定住者」であって、将来永住する意思がある人 * 申請を希望する学生は各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせし、募集要項、申込書等ももらってください。 * 応募者多数になる場合は、選考があるため、財団が求める書類以外に、GPAが表示された成績証明書、生計維持者の令和4年分の収入に関する証明書(源泉徴収票、確定申告書第一表、第二表等)、在留資格がわかるもの(外国籍の者)が必要になります。(推薦人数は、2名までです。)</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 ほくと育英会 http://www.hokuto-shinkin.co.jp/ikueikai/info.shtml</p>	<p>次のすべてに該当する者 ・学部1年生に在籍中の学生 ・研究意欲の旺盛にして学業優秀、原則として学費の支弁が困難な学生 ・京都府宮津市、京都市(但し旧京北町に限る)、福知山市、舞鶴市、綾部市、亀岡市、京丹後市、南丹市、船井郡および与謝郡に所在する高等学校の卒業生(該当の高等学校は左記の財団HPで確認すること) * 応募希望者の兄弟・姉妹が、現在ほくと育英会の奨学金を受給している場合は、選考されない場合があります * 申請を希望する学生は各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせし、募集要項、申込書等ももらってください。 * 応募者多数の場合は学内選考があります。学内選考がある場合は、財団への提出書類以外にも根拠資料の提出を求めることがあります。(推薦人数は、2名までです。)</p>

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 社会福祉法人中央共同募金会 (盛和塾 就職活動応援助成) https://www.akaihane.or.jp/subsidies/sub-kikin/31823/</p>	<p>(盛和塾 就職活動応援助成) 原則、以下の要件のすべてにあてはまる者を対象とします ・高等学校卒業時に児童養護施設または自立援助ホームに在籍していた者で、就職活動する時点で施設を退所して自らの生計を立てている者 ・2023(令和5)年度に就職活動を実施する予定の者 * 過去にこの助成を受けた方は対象になりません * 応募書類、応募方法等については本法人HPより確認すること</p>
<p>返還の必要なし 社会福祉法人中央共同募金会 (盛和塾 手に職つけよう応援助成) https://www.akaihane.or.jp/subsidies/sub-kikin/31823/</p>	<p>(盛和塾 手に職つけよう応援助成) 原則、以下の要件のすべてにあてはまる者を対象とします ・高等学校卒業時に児童養護施設または自立支援ホームに在籍していた者で、現在は施設を退所して自らの生計を立てている者 ・国家資格等の取得を目的にその養成課程を有する大学に進学し、現に在学している者 * 過去にこの助成を受けた方は対象になりません * 応募書類、応募方法等については本法人HPより確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 日本国際教育支援協会 (令和5年度JEE・住友金属鉱山地域貢献奨学金)</p>	<p>次の各号のすべてに該当する者。 (1) 令和5年4月に、正規生として、学士課程1年次又は2年次に在籍する者。 (2) 日本国籍を有する者、又は日本への永住を許可されている者。 (3) 東京都多摩地区、兵庫県、愛媛県、鹿児島県の持続的発展に貢献する意欲がある者。東京都のうち都区部と島嶼部(伊豆諸島・小笠原諸島)を除いた市町村部。 (4) 経済的援助を必要とする者。 (5) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。 (6) 令和5年4月に在籍する大学の長の推薦を受けることのできる者。 * 募集要項等は、個別にデータを送付しますので、窓口申出期限までに各キャンパスの奨学金窓口へ申出をしてください。 * 協会が求める書類については、協会指定の形式データで各奨学金窓口まで持参をしてください。(推薦書は、アドバイザー教員に各自で依頼してください。学校担当者連絡先は入力不要です。) * 応募者多数になる場合は、選考があるため、協会が求める書類以外に、大学が指示する書類を提出してもらう必要があります。たとえば、GPAが表示された成績証明書(1年生は、高校の調査書)、生計維持者の最新の所得証明書、生計維持者が給与所得者以外の場合は、その所得を証明する書類(確定申告書の第一表、第二表や年金振込通知書のコピー等)。推薦人数は、2名までです。</p>
<p>【追加募集】高知市教育委員会 (高知市大学等奨学金奨学生) (問合せ先:088-823-9468)</p>	<p>次の①、②の両方と③～⑤のいずれかに該当する方 ①書類提出期限までに、高知市に本人または保護者が1年以上居住している方 ②修学が経済的に困難な方(生計を同じくする世帯全員の所得により判定します。) ③令和5年4月以降、大学に入学される方で、高校などを卒業(または高等学校卒業認定試験合格)後2年以内の方 ④大学(大学院を含む)に1年以上在学している方 ⑤大学等を令和5年3月末に卒業された方 * 他の奨学金制度との併用が可能</p>
<p>返還の必要なし 京都府城陽市教育委員会 (城陽市辻奨学生) https://www.city.joyo.kyoto.jp/0000006436.html</p>	<p>対象:本人または保護者が京都市域内に在住し住民基本台帳に登録されている方 希望される方は下記の①～③のいずれかを選んでください ① 勉学奨励金…大学の2年生以上、大学院の1年生以上で、学力が特に優秀と認められる人。 ② スポーツ奨励金…大学、大学院に在学し、全国規模のスポーツの競技会において、特に優秀な成績を収めた人。成績は令和4年度～令和5年度中の成績とします。 ③ 芸術奨励金…大学、大学院に在学し、文学、音楽、美術等の芸術の全国規模のコンクール等において特に優秀な成績を収めた人。成績は令和4年度～令和5年度中の成績とします。 * 募集要項、申請書類等は、左記HP確認・ダウンロードをお願いします。</p>
<p>返還の必要なし はばたけ未来の私 (はばたけ未来の私 入学時給付奨学生) (学部生対象)</p>	<p>社会的養護を経験した大学生であり、以下のすべてに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県内に所在する児童養護施設・里親家庭等で生活した経験があること ・大学に在籍している1年生であること ・明確な目的意識を持って学んでいること ・申請者のことをよく知る1名を推薦者とし、名前と連絡先が記入できること(推薦者の方に連絡させていただく場合があります。どなたが適切か、ご自身でお考え下さい) ・他の奨学金との併願も可能です <p>※本奨学金応募に関する書類作成・提出は奨学金を希望する本人が行うこと ※募集要項は、各キャンパスの奨学金窓口へ申出をするか、右記の連絡先へ問い合わせし、請求すること</p>
<p>返還の必要なし はばたけ未来の私 (岡山ソーシャルワーカー協会冠奨学生) (学部生対象)</p>	<p>社会的養護を経験した大学生であり、以下のすべてに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県内に所在する児童養護施設・里親家庭等で生活した経験があること ・大学に在籍している2年生以上であること ・成績は問わないが、明確な目的意識を持って学んでいること ・申請者のことをよく知る1名を推薦者とし、名前と連絡先が記入できること(推薦者の方に連絡させていただく場合があります。どなたが適切か、ご自身でお考え下さい) ・他の奨学金との併願も可能です <p>※本奨学金応募に関する書類作成・提出は奨学金を希望する本人が行うこと ※募集要項は、各キャンパスの奨学金窓口へ申出をするか、右記の連絡先へ問い合わせし、請求すること</p>

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p style="text-align: center;">返還の必要なし</p> <p>公益財団法人林レオロジー記念財団 http://www.hayashi-rheology.or.jp</p>	<p>対象: 未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動製造システムに関する学問を習得又は学術研究を志す工学部・理学部系の大学院生および大学生、若しくは「食品産業に関する」農水産学部・生命科学部系等の大学院生および大学生を対象とし、かつ次の①～③の条件を全て満たす人</p> <p>① 令和6年4月に大学3年若しくは大学4年に進級する人、または、大学院前期(修士課程)1年生に進学を希望する人若しくは大学院前期(修士課程)2年生に進級する人</p> <p>② 品行方正で学習意欲の高い人</p> <p>③ 学業成績が一定水準以上の人(※成績証明書はGPAが記載されたものを提出してください。)</p> <p>* 前年度応募者および前年度奨学生であっても、応募資格を有する</p> <p>* 他の奨学金制度に応募し、又は他の奨学金制度を現に利用している場合は、その財団が併給可の場合のみ、応募資格を有する</p> <p>* 応募を希望する場合は、必ず左記のHP等で奨学金制度について詳しい内容を確認してください</p> <p>* 応募者多数の場合は、学内選考があります(各専攻1名、各学部1名)。</p>
<p style="text-align: center;">【追加募集】</p> <p>公益財団法人 宮崎県奨学会 返還免除型、貸与型 (宮崎県奨学会奨学生)</p>	<p>次のいずれの条件をも満たす者</p> <p>① 宮崎県に本籍を有する者、又は本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している者</p> <p>② 令和5年4月に大学に入学した者</p> <p>* 免除型奨学金以外の貸与については、在学生の応募も受け付けるが、財団に個別に問い合わせが必要</p> <p>* 日本学生支援機構・宮崎県育英資金等の奨学金との併願はできません。ただし、給付型の奨学金との併用は可能</p> <p>* 申請様式は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせください</p> <p>* 推薦書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、所見をもらってください。</p>
<p style="text-align: center;">返還の必要なし</p> <p>公益財団法人 天野工業技術研究所 (2023年度特別募集大学院後期博士課程奨学金)</p> <p>https://zai-amano.or.jp/scholarship-g_special</p>	<p>(奨学生の資格)</p> <p>全国の理工学系大学院の後期博士課程1年次に在籍(11月1日現在)する学生とする。なお、他の奨学金との併給は、その支援団体が認めた場合に可能とする。ただし、単独受給が優先される。</p> <p>* 募集要項、申請書類等は、左記HP確認・ダウンロードをお願いします。</p> <p>* 推薦書は、学生から指導教員にお願いし、指導教員の印をもらってください。</p>

* 奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。